COPY

SAMPLE

JCSS 0080

証明書番号　１８０５７

校 正 証 明 書

依　頼　者	株式会社　センサスヤマモト キャリブレーションセンター
依頼者住所	愛知県名古屋市熱田区千年１－１３－１
計 量 器 名	デジタル圧力計
製 造 者 名	横河電機株式会社
型式・器物番号	型 式 ：　MT210　　デジタル圧力計 器物番号： 91R427182
校 正 方 法	校正用標準器との比較測定による
校正用標準器	重錘形圧力天びん 本体番号：278 ， ピストンシリンダ番号：0482 証明書番号　165265 本体番号：278 ， ピストンシリンダ番号：0452 証明書番号　165266 デジタル圧力計 本体番号： 12BA20120 K　　証明書番号 17088
校正実施条件	２頁，３頁のとおり
校 正 結 果	２頁，３頁のとおり
校正年月日	2018 年 5 月 28 日 ～ 2018 年 5 月 29 日

以上に相違ないことを証明する

２０１８年　６月４日

長野県上田市秋和１１５０番地
長野計器株式会社 製造本部 品質保証部
校正証明書発行責任者
上田品質保証部次長　久 保 田 智 広

・この証明書は、計量法第144条(第一項)に基づくものであり、特定標準器にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。
・発行機関の書面による承認なしに、この証明書の一部のみを複製して用いることは禁じられています。
・この証明書を発行した事業者は、JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025:2005)に適合しています。
・この証明書は、ＩＬＡＣ(国際試験所認定協力機構)及びＡＰＬＡＣ(アジア太平洋試験所認定協力機構)のＭＲＡ(相互承認)に加盟しているＩＡJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はＩＬＡＣ／ＡＰＬＡＣのＭＲＡを通じて、国際的に受け入れ可能です。

COPY

SAMPLE

証明書番号　１８０５７

校正結果

	表示値 [kPa]	校正圧力値 [kPa]	拡張不確かさ [kPa]
昇圧	500.00	500.024	0.050
	1000.00	1000.043	0.075
	1500.00	1500.07	0.10
	2000.00	2000.11	0.13
	2500.00	2500.13	0.15
	3000.00	3000.11	0.18
降圧	3000.00	3000.12	0.18
	2500.00	2500.14	0.15
	2000.00	2000.12	0.13
	1500.00	1500.08	0.10
	1000.00	1000.052	0.075
	500.00	500.032	0.050

備考

① 測定圧力は、大気圧を基準とする気体ゲージ圧力である。
② 圧力媒体は、純窒素を用いた。
③ デジタル圧力計は、水平に設置した。
④ デジタル圧力計は、零調整を行い校正した。
⑤ デジタル圧力計の圧力単位は、ｋPa　で校正した。
⑥ 圧力測定は、昇圧・降圧の往復を３回行った。
⑦ 各測定点では、サンプリング間隔 15秒で 20データを取得し、その平均値を測定点の値として、上記３往復の昇圧時・降圧時の平均から校正圧力値を算出した。
⑧ デジタル圧力計の圧力基準位置は、設置面より 63 mm高い位置とした。
⑨ 校正圧力値は、デジタル圧力計の周囲温度が 22.7 ℃のときの値である。
⑩ 拡張不確かさは、合成標準不確かさと包含係数k=2から決定されたもので、約95 %の信頼の水準をもつと推定される区間を定める。

校正実施条件

温度 21.5 ℃～22.9 ℃、 相対湿度 39 %～42 %、 大気圧 960 hPa～961 hPa

COPY

SAMPLE

証明書番号　１８０５７

JCSS 0080

校正結果

	表示値 [kPa]	校正圧力値 [kPa]	拡張不確かさ [kPa]
降圧	-20.00	-20.010	0.030
	-40.00	-40.010	0.040
	-60.00	-60.010	0.050
	-80.00	-80.010	0.060
昇圧	-80.00	-80.009	0.060
	-60.00	-60.010	0.050
	-40.00	-40.009	0.040
	-20.00	-20.011	0.030

備考

① 測定圧力は、大気圧を基準とする負の気体ゲージ圧力である。
② 圧力媒体は、純窒素を用いた。
③ デジタル圧力計は、水平に設置した。
④ デジタル圧力計は、零調整を行い校正した。
⑤ デジタル圧力計の圧力単位は、ｋPaで校正した。
⑥ 圧力測定は、降圧・昇圧の往復を３回行った。
⑦ 各測定点では、サンプリング間隔 15秒で 20データを取得し、その平均値を測定点の値として、上記３往復の降圧時・昇圧時の平均から校正圧力値を算出した。
⑧ デジタル圧力計の圧力基準位置は、設置面より 63 mm高い位置とした。
⑨ 校正圧力値は、デジタル圧力計の周囲温度が 23.1 ℃のときの値である。
⑩ 拡張不確かさは、合成標準不確かさと包含係数k=2から決定されたもので、約95 %の信頼の水準をもつと推定される区間を定める。

校正実施条件

温度 21.9 ℃～23.6 ℃、 相対湿度 39 %～42 %、 大気圧 961 hPa～962 hPa

－以上－

長野計器 株式会社